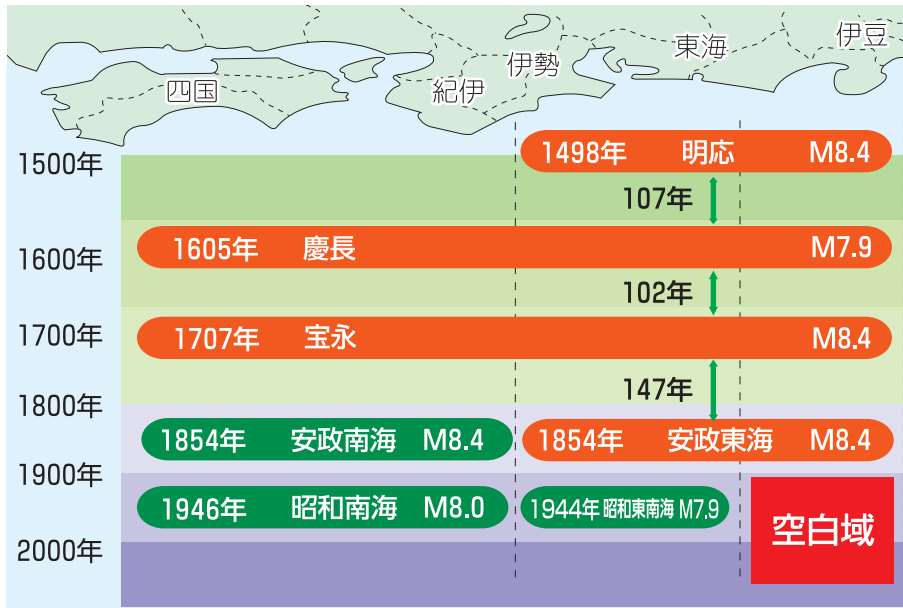


地震災害の過去の教訓

備えよう 知ってるだけでは もう遅い

「中学生の部 最優秀標語」

過去の主な地震



「いつ発生してもおかしくない！」

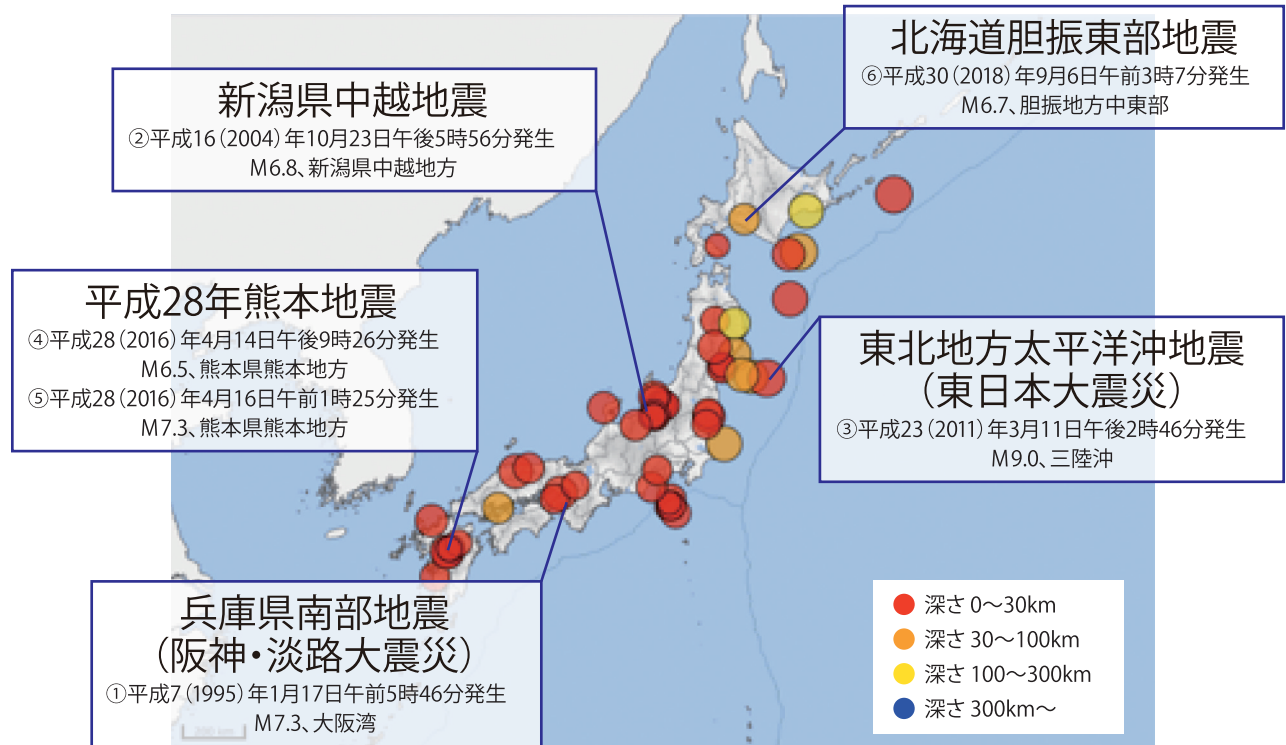


「東海」「東南海」「南海」の3地震が連動して起きるおそれのある南海トラフ地震は、この地域に大きな被害をもたらす地震として、これまでに繰り返し発生してきたことが明らかになっている海溝型地震です。過去を振り返ってみると、これまでおよそ100～150年前後の周期で発生しており、昭和東南海地震、昭和南海地震からすでに相当の期間が経過しているため、現時点でその発生の切迫性が非常に高まっている、と考えられています。

各地で発生する大きな地震

全国各地で大きな地震が発生しており、震度6(6弱)以上を観測した地震が74回、このうち震度7を観測した地震が6回(①～⑥)も発生しています。

※観測期間1919年1月1日～2022年8月31日



気象庁「震度データベース」(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>)に加筆